

Interview



食生活改善推進協議会
橋伊佐子 会長

味はうすく愛情はたっぷり

ふれあい給食は私たち食生活改善推進協議会が始め、今は年2回協議会が、ボランティアの皆さんが他の月に行っています。味はうすく健康的に作っていますが、愛情は抜きません。月2回のお弁当作り、楽しんで取り組める仲間も募集しています。一緒に楽しみましょう。



見守り活動とともにふれあいを 社協でふれあい給食

市総合保健福祉センター2階の調理室で、食生活改善推進協議会の皆さんがふれあい給食を作っています。協議会やボランティアの皆さんが調理を行い、民生委員の皆さんが配達を担当しています。給食は栄養士がレシピを作成し、砂糖などを使わずカツオや昆布などで出汁をとっており、健康的なお弁当に仕上がっています。



川上小学校4年生が学ぶ 授業教材に東温市のパンフレット活用

川上小学校4年生の国語の授業で、東温市の観光パンフレットを読み解きながら、「誰に向けて作られたもの?」「文字の大きさが違うのはなんで?」などをみんなで意見を出し合いながら考えました。渡部紗衣さん(松組)は、「パンフレット1ページごとにたくさんの工夫があってびっくりしました。今まで知らなかった東温市の場所も知れました」と授業の感想を話してくれました。



自主的なまちづくり活動に支援 市民団体が提案した4事業活動始まる

市民団体が自主的に取り組む活動を支援する「市民提案活動支援事業」の公開プレゼンテーションが8月31日行われ、提案した4団体の取り組みが採択されました。独自性や公益性、将来に向けた継続性などが審査の基準で、審査委員を務めた鶴見武道さんは「創意工夫のある提案ばかりだった。若い皆さんの取り組みを応援したい」とエールを送りました。(写真は提案した1団体の皆さん)

Interview



重信中学校水泳部
野中康作 キャプテン

自己ベスト更新を目指して

いつも応援してくれている家族には「ありがとう」と感謝の気持ちを持っています。今回の新人戦で、100m1分5秒の記録を塗り替えられるように頑張りたいです。水泳部は明るい子が多く、お互い刺激あって、やる気がでます。応援よろしくお願いします。



重信中学校水泳部が先陣を切る 中予地区新人体育大会始まる

9月2日、アクアパレット(松山市)で行われた新人戦に、重信中学校水泳部1、2年生の25人が挑みました。男子100m自由形3位、男子400m自由形5位入賞という結果となりましたが、各々がベスト記録を達成しました。他の競技では、例年どおりの開催が難しいなかで、代替試合などが検討されているそうです。



▲練習の様子

これからもお元気でいてください 100歳のご長寿おめでとうございます

9月14日、山内マサ子さん(樋口)、馬場正治さん(横河原)をはじめ、14人に加藤市長から賞状や記念品が贈呈されました。馬場さんの元気のひけつは「毎日歩くこととたくさん食べること」。エスカレータではなく階段を使うそうです。今年東温市で100歳以上の人は32人。これからも末長くお元気で過ごしてください。



北村大臣が東温アートヴィレッジセンターを視察 文化芸術を通じた交流拡大に期待

8月27日、北村内閣府特命担当大臣(地方創生)が、東温アートヴィレッジセンター(見奈良)を視察しました。この施設は、東温市の文化芸術を通じた交流機会の拡大、関連産業の創出や次世代を担う人材の育成を目指す施設で、舞台上での稽古風景を視察した大臣は「その土地ならではの資源がうまく使われている。地方に活力が生まれるよう頑張ってもらいたい」と激励しました。



カメラを持って出かけよう

フォトコンテスト 開催

3つのフォトコンテストが
開催されています。
皆さんが撮影した
素敵な写真を
応募してください。

重信川サイクリングロード とうおんフォトサイクリング 2020



重信川サイクリングロード周辺で
設定したチェックポイントと東温市
内のお気に入りポイントを撮影して
「#とうおんフォト」をつけて SNS
(Instagram、Facebook) に投稿して
ください。投稿していただいた人の中
から抽選で SAKURA select 詰め合わ
せ品を贈呈します。

期間中サイクリングイベントに参加
し、サイクリングでさくらの湯観光物
産センターを訪れた人にはお得なプ
レゼントもあります。

◇期間…10月1日㊥～31日㊤
㊤ (一社) 東温市観光物産協会 ☎
993-8054

笑顔！とうおんフォトコンテスト 2020



笑顔輝く人、魅力の詰まった自然
風景、“美味しい！”が伝わるお料理
の写真などなど…。東温市にまつわ
る写真ならなんでも OK！

コンテスト運営主体(NEXTTOON's)
の Instagram または Twitter アカウ
ント (@nexttoons) をフォローして、「#と
うおんフォトコン 2020」をつけて投
稿してください。コンテスト特設サイ
トで送信することもできます。応募作
品の中から最優秀賞、優秀賞などを
決定します。最優秀賞は温泉施設「利
楽」の宿泊+坊っちゃん劇場の観劇
チケットを贈呈します。

◇期間…11月6日㊤まで
◇事業実施主体…NEXTTOON's

令和の New！中予！ フォトコンテスト 2020



中予地域(松山市、伊予市、東温
市、久万高原町、松前町、砥部町)
の街並みや自然、歴史、伝統及び食
文化といった中予の魅力を表現する
“新しい写真”を募集します(令和元
年5月1日以降に撮影されたものに限
る)。応募方法は①中予地方局商工
観光室 Instagram (@chuyonavi) を
フォロー。②撮影した写真に応募用
の「#chuyonavi2020」と撮影場所、
撮影日をコメントにつけて投稿して
ください。最優秀賞は7千円相当の賞
品をプレゼント。ぜひお気軽にご応
募ください。

◇期間…令和3年1月31日㊤まで
㊤ 中予地方局産業振興課 ☎ 909-8760

予期せぬ水難事故に備えて 松山南消防署と合同水難訓練

台風 10 号の影響で開催が危ぶまれた9月7日、
山之内地区の菖蒲堰で、東温消防署と松山市消防
局南消防署が合同で水難訓練に挑みました。訓練
を終えて難波江奎太消防士は「改めて災害救助の
困難さと大切さを認識できました。予想できない
災害が例年続いているなか、市の垣根を越えた合
同訓練で住民の皆さんの安心安全を守っていき
たいです」と決意を新たにしました。



考えよう地球のこと 生活のこと 南吉井小学校で子ども科学&環境会議

9月14日に行われた子ども科学&環境会議の舞
台は南吉井小学校。子どもたちは、3つの講座に
分かれて、環境や科学について理解を深めました。
講座はフードマイレージを学ぶ「買い物から環
境を考えよう」、魚の内側、外側を学ぶ「魚のから
だのつくりを知ろう」、エコラップを作り、環境負
荷を考える「みつろうラップを作ろう」の3つ。次
回は上林小学校で、10月2日に行われます。

北吉井地区の有志 50 人が集合 三島会がボランティア地域清掃

8月30日、三島会(樋好会(樋口地区)、い
ずみ会(横河原地区)、中央会(志津川地区)の有
志)の皆さんが北吉井小学校でボランティア清掃
を行いました。三島会会長渡部昌弘さんは「新型
コロナウイルス感染症の影響で相次いだ地元行事
の中止。地元の有志でできることはないかと考え、
実施しました。母校であり、子どもも通った学校。
大事にしていきたいですね」と話してくれました。



東谷小学校 地域とふれあい10周年 桜の落ち葉を堆肥にした稲の収穫

子どもたちに地域の伝統や文化を知ってもら
うため、地域と連携して行っている東谷地区の稲刈
りが、今年で10回目を迎えました。

今年は、東谷小学校の桜の落ち葉を堆肥として
活用しています。6年生の近藤海翔さんは「僕は
今年が最後の稲刈りでした。今年が一番上手にで
きて嬉しいです。中学校に入っても頑張りたいで
す」と笑顔で話してくれました。



「踊育（だんいく）」という言葉を知っていますか？これは、日本ストリートダンス協会が実践する、子どもたちが地域伝承の踊りの学習と、その踊りを活かした「地域ダンス」の創作活動に取り組むプログラム（提供：ダイドードリンコ）のことです。

拝志小学校が中四国地方で初めて、このプログラムを行う小学校としてサポートを受けました。

取材日当日、プログラムに挑んだ4年生は、伊予民踊研究会の踊りの先生を招いて、県民謡民舞である伊予節、新伊予節を学びまし

た。伊予節、新伊予節の起源や歴史を教わりながら実際に踊りを教わります。伊予節を見た児童は、「ゆつたりと踊っていてきれい！」「自分が踊るのは難しそう」と印象を話していました。

次にストリートダンスに取り入りたい新伊予節の踊りを、グループごとに話し合います。「ぼくはこんな振り付けが心に残ったからダンスに入りたいな」。意見を出し合いながらダンス創作に励みます。

皆さんが考えたダンスは、運動会で披露されるそうです。

伝統の舞とダンスを融合 児童がオリジナルダンス創作 拝志小でキャリア教育プログラム

「えー！なんで捨てるん？」「もったいないよね。」子どもたちの声が教室に響きます。

8月31日、上林小学校で行われたSDGsの特別授業で、5、6年生14人が食品ロスを減らすために自分たちにできることを考えました。毎日、一人お茶碗一杯分の食品ロスが出ていることを知った児童からは「えー?!嘘やろ!」と驚きの声が上がります。

身近な買い物から食品ロスについて考えていくため、児童たちはカレーに使う食材を、産地や消費期限の違いをゲーム形式で選択して

いきました。

授業を受けた石山裕菜さんは、「消費期限に気をつけたり、環境にどんな影響が出るかを考えて買い物をしていきたい。食べ物に感謝したいです」と話してくれました。

食品ロスだけでなく、環境負荷を減らすためにできることは身近にたくさんあります。マイバッグ（買い物袋）を使うことや地元産のものを選ぶ（フードマイレージ）ことも選択の一つです。地球環境を未来へ引き継ぐために、少しの行動で社会を変えていきましょう。

私たちの行動で世界を変えよう 上林小で「もったいない」を学ぶ



Interview



拝志小学校
宮岡 明日香 教諭

ダンスと伝統芸能の融合で、アクティブな授業を

「何か複合的な学習ができないか」と考えていたときに、ちょうど4年生が社会の授業で地域の残したい文化伝統を学ぶ機会があるので、体育や総合的な学習を絡めた今回のプログラムを取り

入れることにしました。ただ教えられるだけではなく、自分たちでオリジナルのダンスを考えることで、仲間との協力の意識も芽生えると思います。ぜひ他の学校でも取り入れてほしいです。

なぜその商品を選ぶのか。視点を養ってほしい

SDGs 買い物ゲームを通して、私たちの生活の中で買い物が世界とつながっているということを実感してもらい、「自分にできることはないか」という振り返りをしてもらいたいと思っています。

ます。ゲームを通して、なぜその商品を選ぶのかという理由を考えることで、買い物の視点を養うことができます。この視点が世界的な目標のSDGsにつながっていくものと期待しています。

市消費生活相談窓口
武田 咲枝 相談員



Interview